

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2011年度 後期分）

2012年 7月

実践女子短期大学自己評価委員会

2011 年度後期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員会委員長 松尾昇治

2011 後期の『教員アンケート集計結果報告書』が完成しましたのでお届けします。

先生方には学事等でお忙しい中をアンケートにご協力くださりありがとうございました。今回のアンケートにつきましては、生活福祉学科の廃止などの影響があり、2011 年度後期を 17 通下回り、合計 44 通の回答が寄せられました。ご協力いただきました先生方に感謝申し上げます。

回答の内容を見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「十分に納得できた」とする回答が 54.5%と最も多く、次いで「だいたい納得できた」とする回答が 43.2%でした。これらを合わせますと 97.7%となります。2010 年度後期の数値が 98.3%ですから、今回は 0.6 ポイント下回ったこととなりますが、学生の評価に対する教員の受け止め方は、極めて肯定的であったと理解いたします。

自由記述に関しても、例年同様多くのご意見やご感想をいただきました。学生評価に対する各先生のコメントをお読みいただき、学生の状況を把握するとともに授業の改善等の参考にしていただきたいと思います。また、授業に関するアンケート用紙は集計が済みますと、授業をご担当の先生にお返ししております。自由記入欄からも学生のコメントをお読みくださり、授業改善の参考になさってください。

なお、教員アンケートの自由記述のなかの「特になし」は無回答と同様にいたしました。さらに同様のご意見も一つにまとめさせていただきました。今回も読みやすさを考慮するとともに、回答者や科目が特定されることを避けるために、一部で字句や表現の修正等を行っていますことをご了解ください。

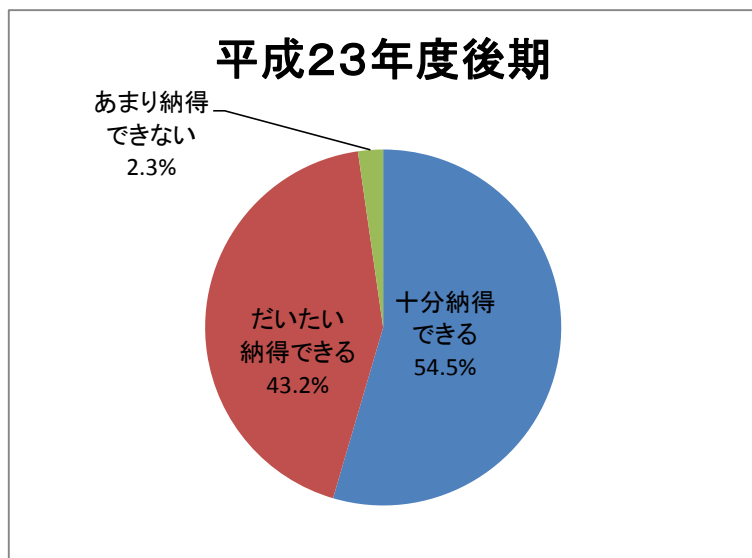
設問 5（授業改善に関する学校への要望）および設問 6（学生アンケートの内容、実施方法）において、多くの要望をいただいております。本委員会において要望内容を精査し、ご要望に対する回答を本委員会と担当事務部で作成し、「教員アンケートによるご意見」としてまとめました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。改善にむけて検討をしていきたいと考えておりますが、すでに備えてある設備等もございますので、ご覧いただき授業に活用していただきたいと思います。

最後になりますが、この報告書が教員の皆様に活用され、授業の改善および向上に資することができることを願っております。

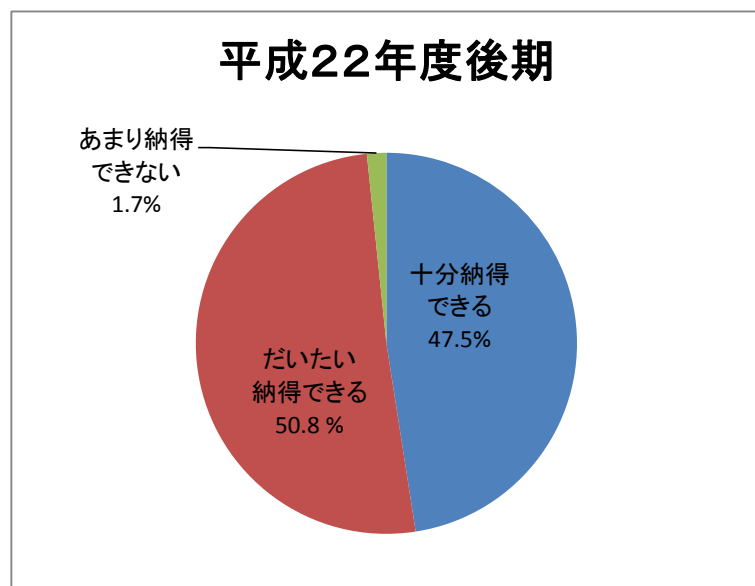
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成23年度後期と平成22年度後期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	24	54.5%
だいたい納得できる	19	43.2%
あまり納得できない	1	2.3%
合計	44	100.0%



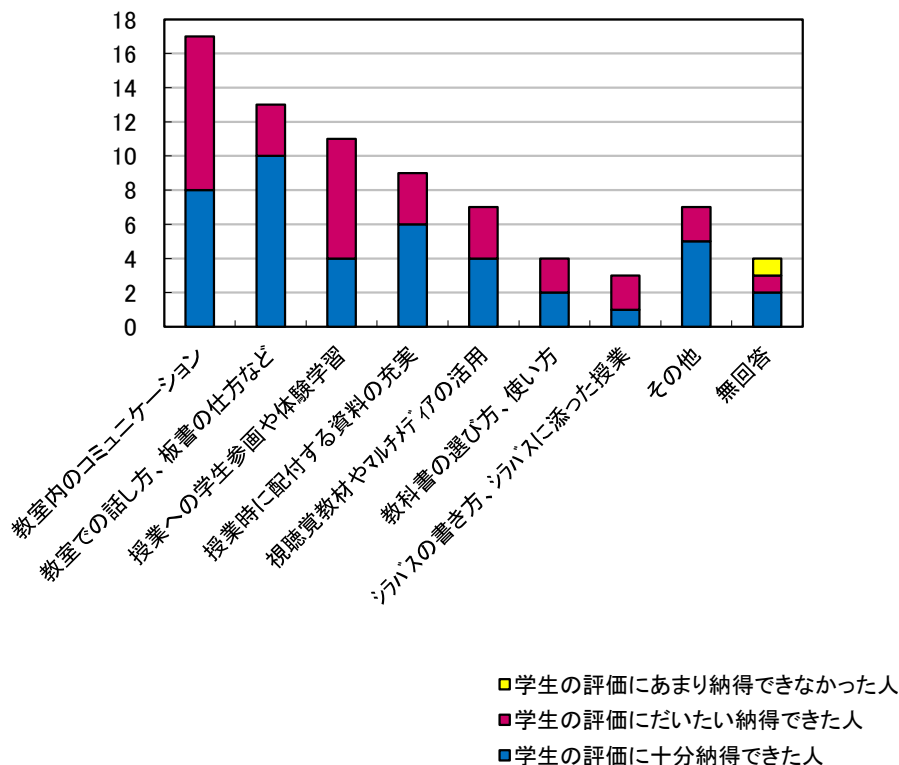
選択肢	回答(人)	割合
十分納得できる	29	47.5%
だいたい納得できる	31	50.8%
あまり納得できない	1	1.7%
合計	61	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

設問3-1 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成23年度 後期

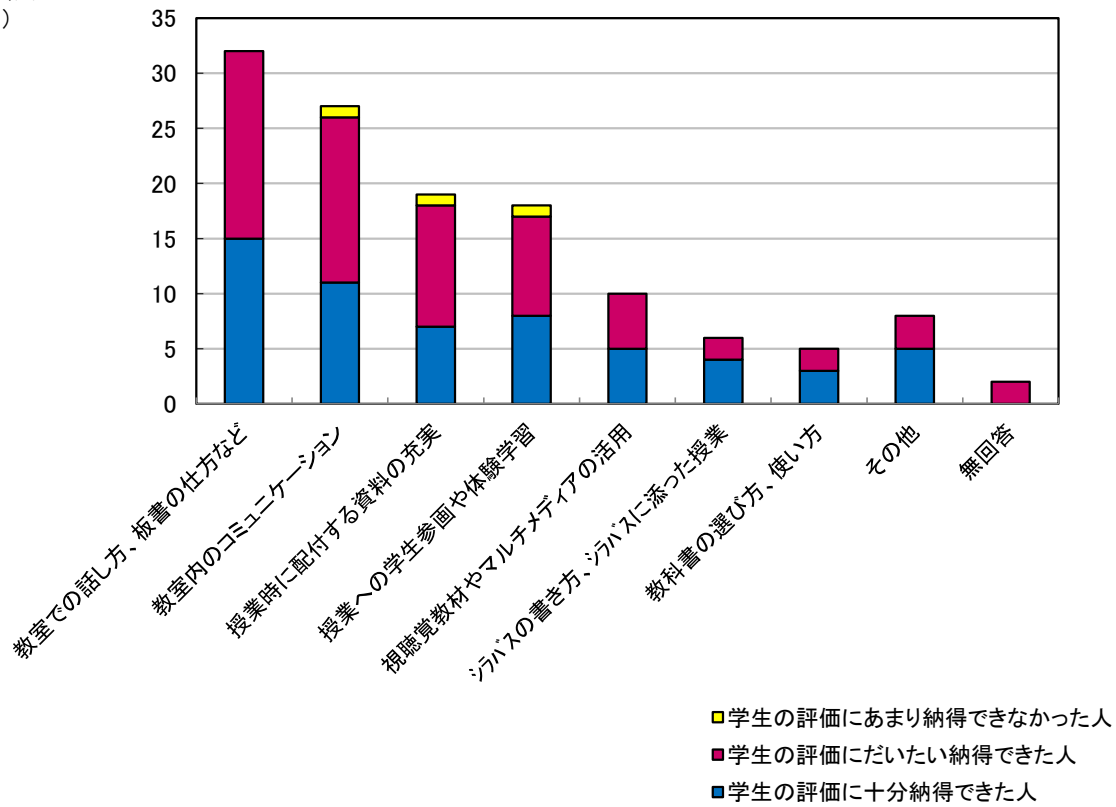
(人)



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	8	9	0	17
教室での話し方、板書の仕方など	10	3	0	13
授業への学生参画や体験学習	4	7	0	11
授業時に配付する資料の充実	6	3	0	9
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	3	0	7
教科書の選び方、使い方	2	2	0	4
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	1	2	0	3
その他	5	2	0	7
無回答	2	1	1	4
合計	42	32	1	75

平成22年度 後期

(人)

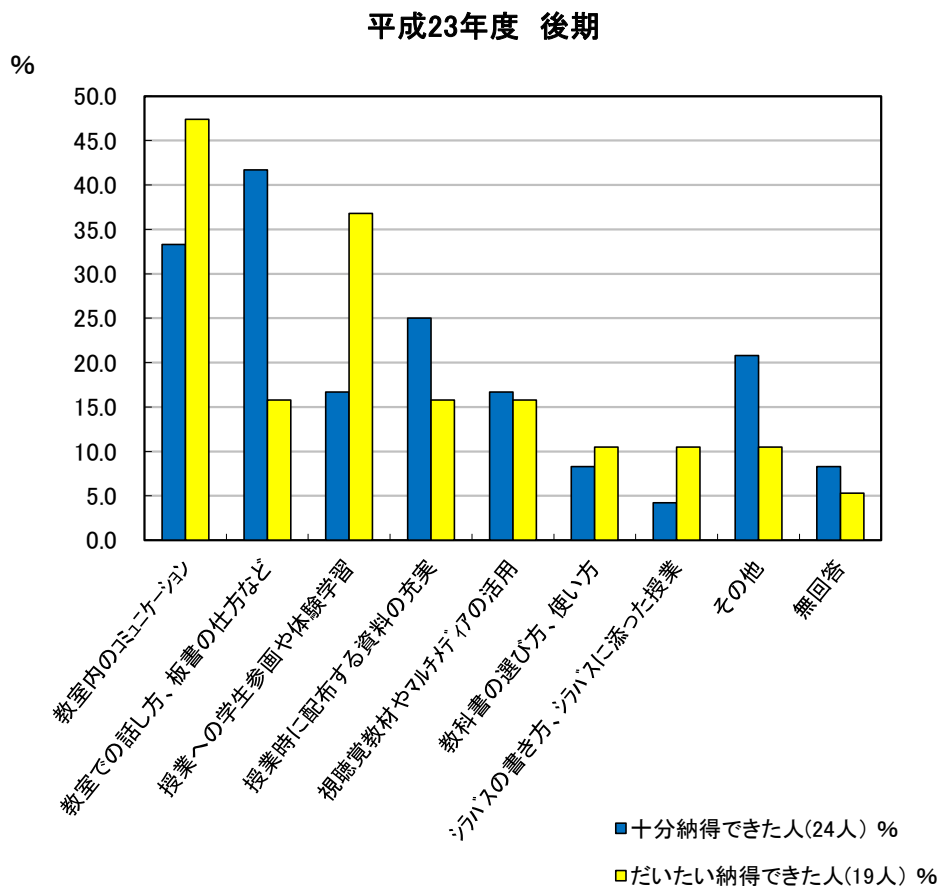


授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内での話し方、板書の仕方など	15	17	0	32
教室内でのコミュニケーション	11	15	1	27
授業時に配布する資料の充実	7	11	1	19
授業への学生参画や体験学習	8	9	1	18
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	5	0	10
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	2	0	6
教科書の選び方、使い方	3	2	0	5
その他	5	3	0	8
無回答	0	2	0	2
合計	58	66	3	127

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

設問3-2

学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）



授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (24人)		だいたい納得できた人 (19人)		合計 (人)
	人	% (注1)	人	% (注2)	
教室内のコミュニケーション	8	33.3	9	47.4	17
教室での話し方、板書の仕方など	10	41.7	3	15.8	13
授業への学生参画や体験学習	4	16.7	7	36.8	11
授業時に配布する資料の充実	6	25.0	3	15.8	9
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	16.7	3	15.8	7
教科書の選び方、使い方	2	8.3	2	10.5	4
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	1	4.2	2	10.5	3
その他	5	20.8	2	10.5	7
無回答	2	8.3	1	5.3	3

※ 無回答を除く1人当たり回答件数

1.8件

1.7件

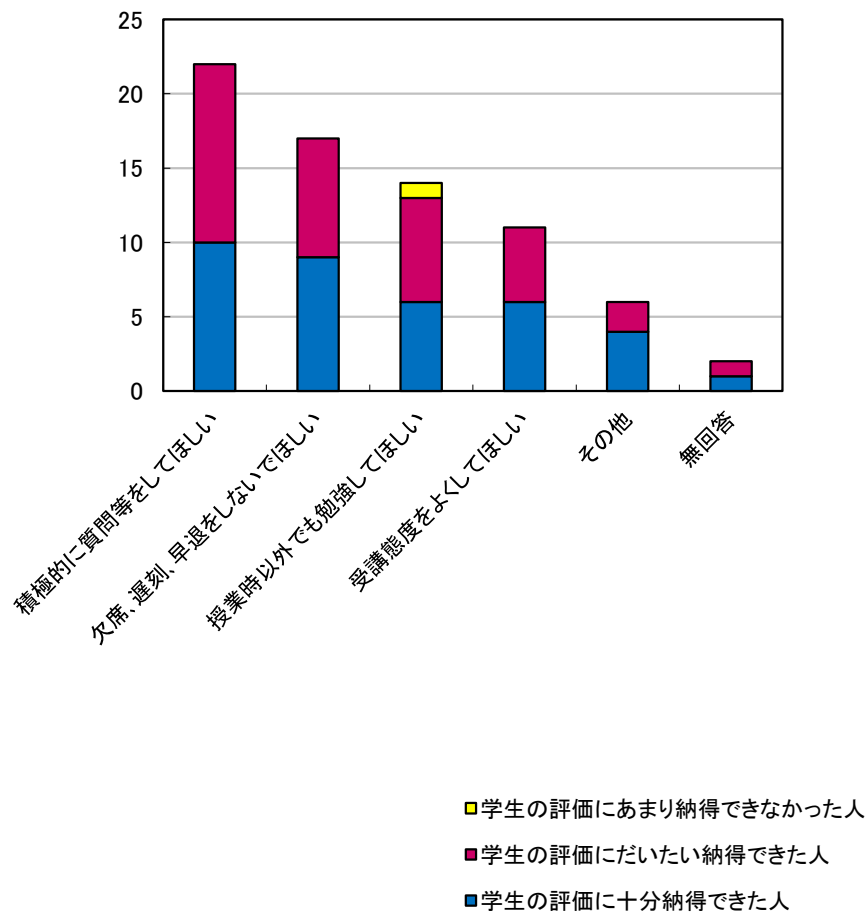
(注1) … 「十分納得できた人」24人に対する割合

(注2) … 「だいたい納得できた人」19人に対する割合

設問 4-1 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成23年度 後期

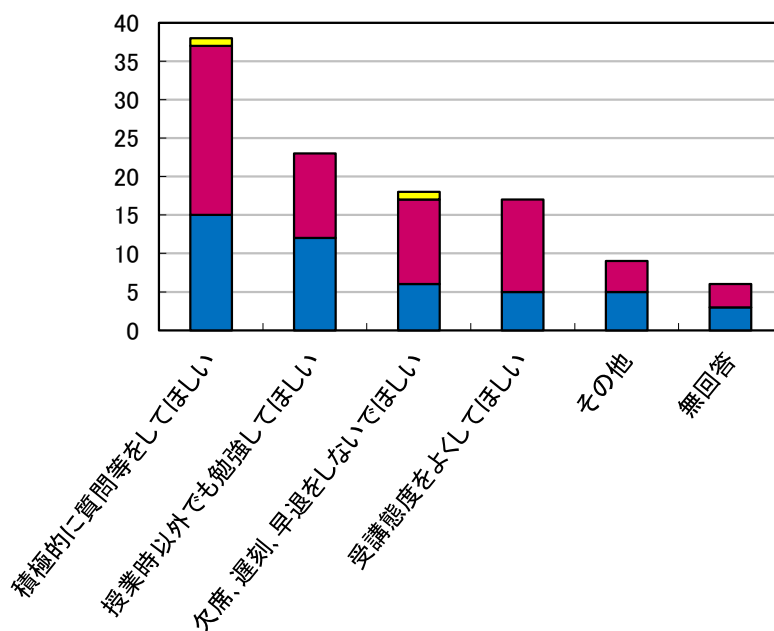
(ウ)



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	10	12	0	22
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	9	8	0	17
授業時以外でも勉強してほしい	6	7	1	14
受講態度をよくしてほしい	6	5	0	11
その他	4	2	0	6
無回答	1	1	0	2
合計	36	35	1	72

平成22年度 後期

(ウ)



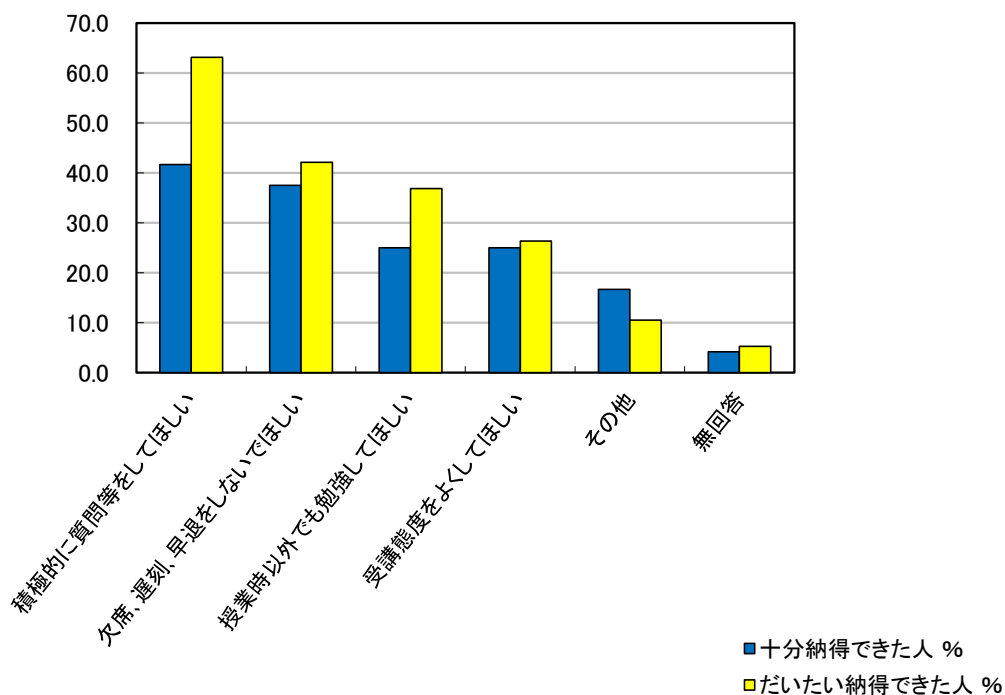
- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	15	22	1	38
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	12	11	0	23
授業時以外でも勉強してほしい	6	11	1	18
受講態度をよくしてほしい	5	12	0	17
その他	5	4	0	9
無回答	3	3	0	6
合計	46	63	2	111

設問 4-2 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成23年度 後期

%



学生に対する要望	十分納得できた人 (24人)		だいたい納得できた人 (19人)		合計 (人)
	人	% (注1)	人	% (注2)	
積極的に質問等をしてほしい	10	41.7	12	63.2	22
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	9	37.5	8	42.1	17
授業時以外でも勉強してほしい	6	25.0	7	36.8	13
受講態度をよくしてほしい	6	25.0	5	26.3	11
その他	4	16.7	2	10.5	6
無回答	1	4.2	1	5.3	2

※1人当たり回答件数

1.5件

1.8件

(注1) … 「十分納得できた人」24人に対する割合

(注2) … 「だいたい納得できた人」19人に対する割合

II. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正いたしました。

また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご承知ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。 (有効回答数 25/44)

1. 十分納得できる (有効回答数 17/24)

- ・学生の参加型授業を重視し、その趣旨、力を入れた点もよく理解してくれている。
- ・授業の内容には非常に興味を持って取り組んでいただけたと思っております。おしゃべりが多い方がいらしたので、途中注意をさせていただいたことがございました。他の学生さんが気にされていたことが気になりました。
- ・納得できるのは、授業の学生数が少なかったので、一人一人、丁寧に指導することができたからです。
- ・他者の主観としてそのまま受け止めるのみ（従来同様）です。
- ・2クラスありますが、クラスごとの受講中の学生の態度の違いからも推測できる評価が出ていたので、納得です。
- ・受講数が少ないことがあり一人ひとりの授業への理解をとらえることができました。コミュニケーションも取りやすく、グループディスカッション、プレゼンテーションをとおしで相互に尊重した関係を構築できたと思います。
- ・学生が興味を持ちそうなテーマを選んで授業を組み立てたことと、パソコンを使ってインターネットで情報収集を行い、自分で考えながら作り上げていく能動的な授業形態が支持されたのではないか？
- ・全体的に高評価だったが、1、2名明らかにパソコンスキル自体が低い学生がいた。その反映があったように思える。
- ・学生たちの授業に対する総合満足度、授業の内容に興味を持てた様子が伝わります。
- ・総合満足度では、多くの学生が「大変満足」「やや満足」と受けとめています。学生も真剣に学んでくれたと思っています。
- ・満足できる点は、参加型授業の具現化をめざした工夫について履修生に高く評価していただいたことです。
- ・教員の立場から大切と考えることについては、学生の 67%に理解していただけるように授業をすすめました。全体としては適切な評価が得られたと思いますが、一人の学生から「説明が長い」とのコメントがありました。このコメントを含め、十分に納得できます。
- ・講義後の理解度確認テストでも何とか理解ができているとの感触は得ていたが、評価でも平均以上のようなので学生の認識とずれはないものと思われる。
- ・真面目でいい学生さんたちでした。
- ・大半の人がちゃんと考えて、回答しているようなので。1名だけ、答える必要のないところまで機械的にすべて左側につけていました。
- ・期待以上によい結果だったのでうれしく思います。
- ・初めて学習する内容だと思いますが、率直にその内容やボリュームについて、感じたこと

を述べていただいていると思いました。

2. だいたい納得できる (有効回答数 7/19)

- ・このような評価であろうことは、想像していた。
- ・評価が学生によって分かれており、意欲的に授業に取り組んだ学生の評価は高い傾向がある(全体の2分の1)。積極的に質問するように求めたが、今年もほとんど質問が出なかった。それでも質問に対する教員の対応の評価欄に記入されているのがアンケートの信頼性を疑う。
- ・視聴覚資料を多用して、わかりやすい授業内容にしようとしたことが評価されていて、うれしかった。
- ・演習の多い科目は学生の満足度が高い。
- ・最後まで担当教員の名前を間違えて理解していた学生が5名いた。「授業中に授業と関係ない会話をしたことがかなりある」「意欲的に取り組まなかった」と自身を評価した学生が、項目の多くで「そう思わない」と評価する点は疑問に思った。
- ・栄養士に必須の専門科目を、「難しい」という学生が多いのが問題です。
- ・調理実習を通して学生たちが料理に関して興味を示してくれた点。

3. あまり納得できない (有効回答数 1/1)

- ・シラバス通りに進行しているが約2割の学生が「そう思わない」とし、理解に苦しむ。熱心でない、不適切という評価が多かった、何を持って、どうしたら熱心・適切となるか、学生から「どんな授業をすればお互いうまくいくのか」ぜひ聞いてみたいものである。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見をお書きください。

a. レベルについて (有効回答数 32/44)

- ・共通科目であっても、学生のレベルを考え、文法項目の補充などを行ったり、言語と文化の理解を深めたので、よく学生は評価してくれた。
- ・楽しく取り組めたのではないのでしょうか。専門的に勉強したい方には物足りないかもしれませんが、今後役に立てることができる内容といたしました。また、積極的な発言がもっと多くなってくるといいと思います。個人的にはよくお話をしてくれた学生もいました。
- ・レベルについては、いつも難しいということで、評価を受けます。毎年、レベルは落としているので、これが限界でしょうか？ 希望としては、もう少しレベルアップをしたいところですが、毎回難しいと言われるので、仕方ありません。
- ・前期では、扱っている内容やレベルが学生にとって難しかったのですが、後期は改善できたと思います。
- ・学生の評価を見ても、レベルはほぼ適切だったと考える。
- ・昨年と同じ授業なのだが、レベルがやや適切でないとする学生が14名中2名いたが、分かりやすく授業することに努め、全体的には適切と考えられていた。

- ・資格取得にあたり専門領域のレベルは下げられませんが、4.5 と 4.3 であったので、学生も努力してくれたと思います。また、「どちらとも言えない」と答えている学生にとって、難しかったのか、物足りなかったのかの意見をもらえると、授業に反映しやすいと思います。
- ・自己理解、働くことへの理解に関するプログラムは学生の興味が高く積極的に取り組むことができました。その一方で社会保障（年金、社会保険など）とライフプランの関係、労働基準法などについてはまだ自分にとっての問題として捉えるのにやや難しかったようです。
- ・8割の学生はこちらが期待するレベルの成果を出したが、2割程度は期待を下回ったと思われる。期待値まで届かなかった理由は、学生の理解不足が大きいと思われるが、2割の学生のレベルに合わせると8割の学生には不満ではないか？
- ・ややそう思うと合わせると、80%以上が適切と評価してくれたようで満足。ただ、理解度ということになると、複数回説明した内容が浸透していない学生が複数いて、残念だった。
- ・「4.2」という評価でした。「どちらともいえない」「あまりそう思わない」という意見も少しありますので、少し難しかったのではないかと思います。これからもっとわかりやすく勉強できるよう工夫したいと思います。
- ・負荷が高いかもかもしれないと感じていた内容（レベル）に対する学生の反応を知り、それほど学生は負荷に感じていないことがわかった。
- ・多くの学生が問題なかったように思える。1～2名のみ特別なサポートが必要な学生がいた。
- ・少し難しい部分もあったように思えるが、昨年と比べると、内容の理解不足はそれほどなかったと思います。
- ・学生の能力に格差があるので対応を考えながら進めたい。
- ・評価はおおむね良好だった。
- ・科目の種別（講義か演習か）、また成績評価（試験を行うかどうか）によって回答が分かれるように感じられた。
- ・適切なレベルと考えます。学生の評価もそうでした。
- ・履修生が関心をもつことができたテーマには、「もっと学びたかった」という意見がありました。現状よりレベルを上げることの可能性が示唆されました。
- ・「あまりそう思わない」学生が10数%で、「どちらとも言えない」を合わせると半数を超える。教える内容を相当絞り込み、毎回の小テストで理解を促しているが、最後は個人個人の勉学意欲の問題になると考えます。
- ・総合満足度に比べ「レベルが高い」と受け止めていた学生の割合が高くなっていました。社会に出て活躍するためには維持しなければならないレベルだと考えておりますので、レベルを下げるのではなく、教育技法等の改善に努めるなどでの対応を考えます。
- ・できるだけわかりやすい講義を心がけて基本的な知識を身に付けてもらえるように努めたが何とか理解できていたようである。
- ・適切と考えている。
- ・50%強が「強くそう思う」、40%弱が「ややそう思う」、残り10%が「どちらとも言えな

い」なので、適切であったのではないかと思います。

- ・もう少しレベルを上げたいと思うが、「簡単には理解出来なくとも頑張ろう」とか、「自分でさらに勉強してみよう」とか考える学生は少ないとも思う。これはこの大学に限らず、最近の学生は聞いてすぐに理解出来ないと「難しすぎる」と考えてしまうのではないか。
- ・初めての授業で学生のレベルが当初掴めず、手探り状態でした。少し難しかったと反省した点多々ありましたので、次回から調整していきたいと思います。
- ・2学年が混ざり、人数も多かったので、正直なところかなり習熟度には差があったと感じていますが、学生達の大半は、レベルが適当だったとっていたようで安心しました。
- ・社会人の経験が少ない範囲でも、ある程度の一般常識の経験の範囲で、できるだけ理解できやすい事例を取り上げたことで、レベルが高くとも、正しく理解していたと思います。
- ・なるべくレベルを落とさないようにしているが、高校時代の知識の習得に差がありすぎて、レベル維持に難しさがある。
- ・新しく学習することになかなか一度では理解しがたいようである。
- ・長い間、この講座を担当し、工夫した結果と受けとめています。
- ・Q9は重要な質問です。従って、Q10はQ9の答えが何番だったかに拘らず全員に記入してもらいたいと思います（特にQ9で4番を答えた人は難しかったからか易しかったからか判りません）。

b. 量について (有効回答数 28/44)

- ・適切であった。
- ・問題ないかと思います。
- ・量に関しては、年々減らしていますので、学生に過度な負担は与えていなかったと思います。語学なので、本来なら、もっと課題を増やし、スパルタ的にやりたいところですが、それでは、学生の要望と離れてしまうということでしょうか。
- ・もう少し学生自身に作業をさせるような演習の時間を増やしたいと思いました。
- ・まあまあの評価であろうか。
- ・昨年と同じ授業なのだが、量がやや適切でないとする学生が14名中2名いたが、できるだけいろいろな事象を取り上げ、多くの知識を伝えたいため量が増えたが、熱心に取り組む学生には適切と考えられていた。
- ・栄養士資格取得と、栄養士実力認定試験で示されている範囲からも、1回あたりの講義内容容量が多くなります。学生もそのことを理解してくれての評価だったと思います。
- ・就職試験対策として一般常識の問題集から、毎回20問を実施、答え合わせを行いました。その後に授業となるので、時間の割に内容を盛り込むことが多く少し駆け足になったこともあったと思います。
- ・欲を言えばきりはないが、学んでほしいと思っている最低限の量は確保できたのではないかと思います。
- ・ややそう思うと合わせると、80%以上が適切と評価してくれたようで満足。学生の理解度から考えると、やや量が多かったかなと思う。
- ・「4.5」という評価でしたのでだいたい適切だったのではないかと思います。もっとわか

- りやすく勉強できるよう工夫したいと思います。
- ・多くの学生に問題がなかったように思える。1～2名のみ特別なサポートが必要な学生がいた。多くの学生に問題はなかったように思える。
 - ・分量は毎回のレジュメと資料が適切だったと思います。
 - ・適切であったと思う。
 - ・評価はおおむね良好だった。
 - ・テキストのボリューム＝「授業内容の量」と感じられる傾向も否定できない。分野によってはいまだに半期科目に適したボリュームのテキストが少ないことが悩みの種である。
 - ・一部の科目では、量が多かったと考えますが、全体的に適量でした。
 - ・大方の履修生は満足してもらえましたが、「授業内容が多い」という意見もありました。今後検討していきたいと思います。
 - ・教えるべき内容を絞り込んだせいか、量が多いと答えた学生は少ないが、「どちらとも言えない」学生が多いのが残念である。
 - ・総合満足度に比べ「量が多い」と受け止めた学生の割合が高くなっていました。社会に出て活躍するためには維持しなければならない量だと考えておりますので、量を減らすのではなく、教育技法等の改善に努めるなどでの対応を考えます。
 - ・少し盛り沢山であったかもしれないが何とか理解してもらえたようである。
 - ・適切と考えている。
 - ・50%強が「強くそう思う」、40%強が「ややそう思う」、残り5%が「どちらとも言えない」なので、適切であったのではないかと思います。
 - ・できる学生は早く終わってしまい、休みなどによって遅れる学生は全くできていなかったりで、足並みを揃えるのに苦労しました。この評価には、少ないと感じた人と多いと感じた人が両方いると思います。
 - ・内容の理解度に比例して、確認すべき学習量についても負担にならないような状況ができていたように思います。
 - ・学生にはもっと量をこなしてもらいたい。
 - ・学習内容を精選していきたい。
 - ・この設問もQ9と同じで、“強く”あるいは“やや”そう思うと回答されても、多かったからそう思うのか、少ないからそう思うのか把握できません。Q12は全員記入が良いと思います。特に「やや」の人の真意が判りません。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点は何な点ですか。

(有効回答数 11/44)

- ・学生のコメントに、2年次の小論文講座がほしいというものが複数あったので、できれば設置してもらって、より学生の要望に応えたい。
- ・学ぶ主体は学生自身であるということをはっきりさせる必要があります。そのことを学生が当然のことと思うような授業をしなければなりません。今年度は「LTD話し合い学習法」によってこれを試行しました。次年度もこの試みを継続します。
- ・系統的なグループ学習を軸に授業を組み立てた。遅刻や欠席への配慮について検討してみ

たい。

- ・プロジェクターのある教室を利用しているが、受講人数の割合には教室が広すぎた。
- ・配布資料をよく活用してくれたようなので、さらに充実させたいと思います。
- ・パソコンの基本的操作スキルがおぼつかない学生がいたが、本授業は応用授業なので教員が個々に対応するには限界がある。例年ならばアシスタントを活用する形で対応するが、昨年度は必要なアシスタントを配員することが難しかった。
- ・上記の選択肢項目に関しては授業において常に考えている点である。ただ、学生たちにもっと積極的に授業に参加できる雰囲気を考えていこうと思っております。
- ・AクラスとBクラスと2時限続けて同じ授業を行っていますが、先に授業したクラスの方が、満足度が高かったので、教員側の気持ちの問題が関係しているのかもしれないと思いました。
- ・学生の授業への参加意欲を喚起し続けられる授業の進め方を検討する。
- ・何かを調べさせる、参考文献を指定して読書ノートや感想文を書かせるなど、定期試験以外にも自習の機会を設けたいと思うが、負担になるかもしれないので、検討中である。
- ・簡単なことも、解っているだろうと思わず、最初から順を追って丁寧に教えるようにしたいと思います。

設問4. この評価を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。

(有効回答数 6/44)

- ・バラエティ番組を視聴するような感覚で授業に出席するのではなく、自ら進んで理解しようとする姿勢で臨んでほしい。
- ・ネットから得た情報をそのままコピーするのではなく、自分の感性や考え方を加えて自分の言葉で表現する文章力や表現力を培ってほしい。
- ・授業中に退出することのないよう、トイレなどは事前にすませておいてほしい。
- ・関心を持つことができた内容については、自主的に関連する本を検索し、その本を読むことができるようになると良いと思います。
- ・社会人になることを意識した授業への取り組みを求めたいと思います。
- ・ある程度満足しているようなので、今後も講義した専門分野への興味を持って勉強を続けてほしい。

設問5. 授業改善に関することで、学科や短大に要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について (有効回答数 9/44)

- ・教科書について。毎回、作成した資料を印刷し活用しました。今後も継続し授業を行っていくようであれば、教科書作成について学校の協力が何かあれば助かります。また、教室のスタイルを（机・イスが動かせる等）選べたらよい。
- ・自宅のDVDで録画して、授業用に準備したものが、大学のレコーダーで映し出せないのが残念です。
- ・使用教室を教務側で特定する以前に担当教員の希望をおおまかにでもたずねてほしいと思

- ます。今年度は希望どおりの教室に変更できて好都合でした（感謝しています）。が、以前、条件の悪い教室しか「ない」と言われ、しかたなくそこを使用したことがあります。
- ・プロジェクターのある教室を利用しているが、受講人数の割合には教室が広すぎた。
 - ・教室の中の場所により冷房の程度の差が大きいようで、暑いと声を上げる学生と寒いと声を上げる学生が居り、スイッチを入れたり消したり度々調整しました。その他は、副手さんも準備をしてくださり、十分でした。
 - ・グループワーク、グループディスカッションを多く取り入れています。机や椅子のセッティングに時間がかかる現状です。集合して活動できるようなフリースペースがある教室があるとありがたいと思います。十分な設備ですが、教える側のレベルが伴っておらず、折角の設備を使いこなせていません。
 - ・映像資料のアウトプット環境（BL、パソコンからのDVDなど）を充実してほしいです。
 - ・記念館の3階の教室は、寒かったです。
 - ・板書の際に、スペースが少し足りないと感じることもありました。そのほかには特にありません。

b. ソフト面等について （有効回答数 7/44）

- ・前述したように、二年次の小論文講座を希望する学生が複数いたので、その設置について検討して頂きたい。
- ・個人的な意見ですが、他の先生の授業内容、授業の進め方の見学をしてみたいです。
- ・副手さんが学生の提出物の回収にも協力してくれて、助かりました。
- ・十分満足しています。
- ・ホームページビルダーのバージョンが古すぎ、市販の参考書等との対応が取れていない。そのため学生が困っていた。
- ・講義で使用するソフトウェアがかなり早い時期（場合によっては非常勤講師が決まる前）に決まってしまう。また、講義中に使用したいソフトウェアが出てくることもあり得るため、学期中でもインストールを可能としてほしい（臨機応変な対応をお願いしたい）。
- ・硬筆検定を受講者に義務づけてほしい。

設問6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。 （有効回答数 24/44）

- ・学生からの感想・意見は大変参考になる。
- ・自由記述を丁寧に書いてくれていて、今後の授業の参考になるので、今後も記述式欄を継続してもらいたい。
- ・マークシートだけでなく、個人のコメントをいただける仕組みがあれば良いと思います。
- ・(1) 学ぶ主体は学生自身であるということをはっきりさせる「アンケート」（というより、他者に対する評価）をおこなうべきだと思います。授業時間を利用する以上、「アンケート」も教育活動のひとつとして意味づけられるはずだからです。商業活動における顧客満足度アンケートのように受け取られる側面をもったものは疑問だということです。
- ・(2) 前回同様、「5. 学校への要望」に対する返答が聞きたいと思います。個人で行える改

善ではないからです。

- (1) 科目の種別や性格および実施時期によって評価が分かれる傾向にある。中には機械的に同じところにマークをつけて済ませる学生もいる。
- (2) 「該当なし」という選択肢を設けられないか。たとえばゼミの場合は6や11はおそらく無理に答えているにすぎないであろうし、授業の中で学生から質問があることは稀であることから7に答えにくい場合がある。それでも「平均」として数値化されることに疑問がある。質問項目を絞ってもよいのではないか。
- (3) 回答することで、学生にとっても授業期間のよい振り返りができるように工夫してはどうか。たとえば、9(レベルの適切さ)についてどのような対策を取ったか(「テキストを繰り返し読んで復習した」「教員に積極的に質問を行った」)などを回答させる等。
- 発言に責任をもたせるため記名式のアンケートにすること。期末でなく中間時にアンケートを実施すれば、レベルの低い学生への対処方法の検討、授業方法の反省を行うことができ、その成果を後半の授業に生かせると思う。自由記入欄の記入は、参考となるので必須事項としたい。なお、講義を受けた学生から、毎週課題とするレポートについて「ユニバーサルデザインを提案していくのはとても楽しく、先生からのコメントを頂けるのも良かった。」との感想をもらい、勇気づけられた。
- 2番の質問「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか」に対して「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答に関しては、理由を尋ねていただけると、今後の授業へのよい情報になると思います。
- 学生アンケートは私も授業をふり返り、来年度の改善につながる資料となっています。せっかく時間を取って行っているので、学生の「授業に関するアンケート」でも、「そう思う」「そう思わない」をマークするだけでなく、なぜ「そう思う」「そう思わない」のか一言コメントがあると参考になります。自由記述欄は授業全体の感想が多いので、質問項目ごとに学生の声をもらえると嬉しいです。
- 学生の意見は真摯に受け止め、授業内容に反映させたい。
- 出来ることなら結果を紙だけではなくエクセルで頂きたい。複数年で比較しどう変化しているのか自分でも確認したいので。
- 前期、後期とも毎回全科目について実施する必要はないと思います。教員、学生の負担を軽減することも検討してください。
- 今後も本学における「学生アンケート」の役割を再確認し、アンケートの内容や実施方法の検討を重ねていくことが重要であると思います。
- 授業名と担当教員名を学生に書かせていますが、授業コード等を決めて、数字で書かせるようにした方がベターと思います。アンケート用紙全体を返却するのではなく、自由記入欄のみ切り取られて返ってくる大学もありました。
- (1) 前回は書きましたが、「この授業を担当する教員として適切と思うかどうか」を問うことが必要と考えます。なお、この項目は任意質問では意味がありません。
- (2) 私の担当科目間で比較しても、教える内容に縛りのない、それだけ気楽な内容の科目になるほど高評価がついています。このことは、もはやこのような授業評価アンケートがほとんど意味をなしていないことを示しています。授業を改善するために用いる調査方法に

ついて、根本から考え直す必要があると思います。

- 学生は無記名で言いつばなしである。自分がそのレベルに達する意欲を持って勉強しているのか、教員だけが批判を一方的に言われるのは納得がいかない。ぜひ、振り返りもさせていただきたい。もっと、具体的な要望を言ってもらわないと改善しようがない。そもそも、勉強しようと思っていなければ、こちらの熱意は伝わらない。学生の受けがよい遊んでいるような授業・低い学力レベルに合わせた講義を行なって、教育目標に見合わない学生を養成してよいのでしょうか？
- 毎回評価の結果は一定ではありません。また、講義科目と実習・実験科目とでは相当程度格差が認められます。このような条件の下であっても、学生による授業評価はより良い授業を実施するために大切にしておく必要があると考えています。
- 最終の講義が終わった時点での評価であり、受講した学生への直接のフィードバックができない点は改善の余地がある。ただ、毎回の小テストに要望の記述欄を設けているが記載はなかった。無記名であればあったのかもしれないが学生がどう思っているかは不明である。
- 每期、すべての授業に対して行う必要があるのでしょうか。その費用を別のことに使っては行かないか、という気も少しします。
- 今後とも同じ内容、方法でいいと思う。
- 授業内でアンケートを実施しても、学生達は本音が書きづらいのでは？とも思います。各授業の最終回の始めか終わりに時間を区切って、担当教員のいないところで実施する方法もあるかとも思います。
- アンケートの内容のみならず、講義時間外での学生からの質問等を受け入れられる機会があればよいと思います。
- 参加型授業を実施しています。そういう授業の評価項目を加えられたらと思います。
- 設問 9、11 の質問は適切かどうかではなく、設問 10、12 に「ちょうどよい（適当）」を加えた項目から選んでもらったほうが、分かりやすいのではないのでしょうか。
- 全授業終了時のアンケートだけではなく、学期の最初に学生に授業に対する期待、要望などを聞くことができれば、授業に反映することができるのではないかと。

《教員アンケートによるご意見》

2011年度 後期分

希 望 項 目(一部抽出)	回 答
①毎回作成した資料を印刷するのに学校の協力があれば助かります。	原則として、資料の印刷等は担当教員の先生方をお願いしております。申し訳ありませんが、各自での印刷をお願い致します。(短期大学教育研究センター及び教務担当)
②グループワーク、グループディスカッションで机や椅子の移動に時間を要します。集合して活動できるフリースペースのある教室があればよいと思います。 ・机椅子が動かせるなど教室のスタイルを選べたらよい。	机を移動しないで円陣になって授業ができる教室は、Ⅲ館A棟にある313教室のみです。定員30名ですが、空いていれば使用できます。また、学生机を移動できる教室は、21教室あります。教務担当にご相談いただければ教室変更は可能です。(教務担当)
③使用教室を教務で特定する前に、担当教員の希望を大まかにでも尋ねてほしい。	教室と使用機材の希望がありましたら、出校希望票の備考欄にご記入ください。可能な限りで調整致します。(教務担当)
④教室の中の場所により冷房の程度の温度差が大きいようで、授業中にたびたびスイッチを調整した。	原則、どの教室も28度設定にしています。教室の人数によって室温が高いようであれば、適宜、温度調節をお願い致します。(庶務担当)
⑤映像資料のアウトプット環境(BL、パソコンからのDVDなど)を充実してほしい。	I館201教室にはブルーレイレコーダーを設置してあります。また、教務担当にも貸出用が一台ありますので、使用希望の際はご相談ください。(教務担当)
⑥ホームページビルダーのバージョンが古すぎ、市販の参考書等との対応が取れていない。	今年の4月から第三コンピュータ室のホームページビルダーを最新版にしました。(情報センター)
⑦講義中に使用したいソフトウェアが出てくることもあり得るため、学期中でもインストールを可能としてほしい。	年度の途中での予算はありませんので、主任から情報センター長あての文書を出していただき、情報センター委員会で検討する必要があります。(情報センター)
⑧硬筆検定を受講者に義務づけてほしい。	二拠点化に伴い、カリキュラムの変更が行われているため、すぐに実施をすることはできません。今後、短期大学教育研究センター部会で検討する必要があります。(短期大学教育研究センター)
⑨二年次に小論文講座を希望する複数の学生がいたので、設置を検討してほしい。	平成23年度入学生のカリキュラムであれば受講できます。(教務担当)
⑩自宅のDVDで録画して、授業用に準備したものが、大学のレコーダーで映し出せないのが残念です。	レコーダーが対応していない場合もありますので、DVDをお持ちの上、教務担当にご相談ください。(教務担当)
⑪各授業の集計結果を紙だけでなく、エクセルデータでもいただきたい。	事務では先生方個々のデータを持ってはおりません。紙媒体での納品ですので、エクセルデータでのお渡しはできません。(教務担当)

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

良いマーク 悪いマーク

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> 実践女子大学 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 単位互換生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評 価 項 目		マ ー ク 欄					
あなた自身の授業の取り組みについて	1	あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全く しなかった (5)	ごく まれにした (4)	時々した (3)	かなりした (2)	毎回した (1)
	2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う (5)	やや そう思う (4)	どちらとも 言えない (3)	あまり そう思わない (2)	そう 思わない (1)

教員の授業の進め方について	3	講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	4	授業内容はあなたにとってわかりやすく工夫されて いましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	6	この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は 適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	7	質問に対する教員の対応は適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	8	総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

授業の内容について	9	授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	10	9で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか		難し過ぎた (5)	やや難しい (4)		やや易しい (2)	易し過ぎた (1)	
	11	授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	12	11で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか		多過ぎた (5)	やや多い (4)		やや少ない (2)	少な過ぎた (1)	
	13	この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	14	この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を 得ることができましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
15	総合的に考えて、この授業を受講してよかったです と思いますか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→	

授業別の特別設問	16	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	17	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

自由記入欄（授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可）

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2011年度後期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、3月31日（土）です。

©2012 年度実践女子短期大学自己評価委員会

- 委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)
副委員長 : 加藤チイ (食物栄養学科)
委員 : 西脇智子 (日本語コミュニケーション学科)
 日野一男 (英語コミュニケーション学科)
庶務 : 海野政司、寺師香織